

山口徳地天体観察指導者養成講習会

【日時】平成28年12月3日（土）～4日（日）

【講師】本所天体観察研修指導員：原田ミキ子氏，國廣慎二氏，上田直史氏，岩村和政氏

【ねらい】本所を利用する団体や各種教育事業において、「天体観察」を実施する際の指導者を養成する。

【参加者】天体観察指導に興味・関心のある方 5名

【プログラムの内容】

○講義「天体観察施設・教材とその活用について」本所が有する510mm反射望遠鏡（山口県最大！）の操作方法を習得する。

○指導実習「本所教育事業『星をみる会』」の準備から指導場面を見るとともに、講師とともに事業参加者への観察補助を行った。また、「星をみる会」終了後は、講習会受講者が望遠鏡を直接操作して恒星や星雲をレンズ内に取り入れる実習を行った。

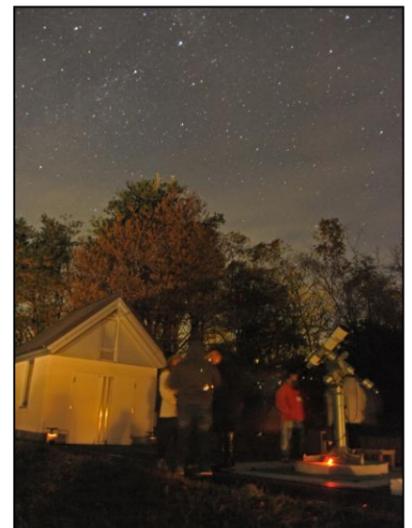
○講義・プレゼンテーション「屋内での星の話」では、課題について受講生同士で考えたり、惑星間の距離を想定して移動したり、課題であった「太陽系の広がりについて」のプレゼンテーションの方法を体験した。



山口県内一の口径を有する天体望遠鏡を使った本所教育事業「星をみる会」の様子
指導は本所天体観察指導員が行っている。



今回の「星をみる会」の一押しは金星と三日月接近



山口徳地の天体望遠鏡と満天の星空



利用者の目的を知ることがまず大切
小学校で求められる内容について説明



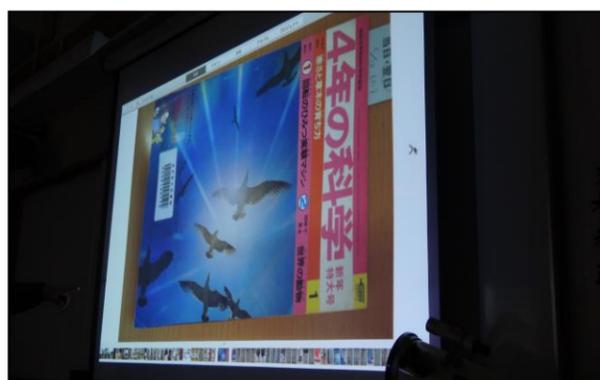
地球と月の実際比の模型を使い説明



今話題のアクティブラーニングの手法を取り入れた地球，月，太陽の距離関係で実際比を知る活動



リスクマネジメントは指導者として絶対に必要



本所の天体研修指導員，登録者同士で天体観察に関する積極的な情報共有を！



今話次長から山口徳地天体観察指導者養成講習会の修了証が参加者全員に渡された。

【参加者の声】

- ・講師のみなさんからは、研修指導員として利用者に対応し数多く経験されてきた中から具体的なことを教えてもらえる講習会になった。
- ・天体観察指導者としての「心構え」「進め方」「安全管理」など、自分にとってねらい通りの講習会だった。
- ・遠方なので、徳地での指導機会はないかもしれないが、天体観察会を行う際の情報源や自己研修のために指導員登録を考えたい。

【今後に向けて】

天体研修指導員を新規に確保するために、来年度も本講習会を継続して実施するとともに、研修指導員相互の情報共有の機会としていく。